



70周年を迎えた光明第一保育園

創立70周年

感謝

社会福祉法人 多摩養育園

理事長 足利正哲

新たに光明府中南保育園を府中市から移管開園し
12保育園 9施設 計21施設
総園児数 1502名 利用者数 708名 職員 916名で
新年度をスタートしました

十年前 創立60周年のとき

創設者の福祉理念を継承していく誓いをたてた
それは 経営理念の啓蒙と具体的実践

和の保育・施設方針を確立し
保育方針を 見守る保育へ

また 後援会 家族会 保護者会 保育園同窓会を
設立し 輪を広げ

施設を「地域の大きな家」とする構想 実践
この為のボランティア公募 二千名以上が登録

更に 高齢者大学「光明塾」 こども食堂の開始
生活困窮者支援へと 地域公益活動を開始

更に この十年

殆どの施設の改築が完了
最後の精華も今年着手します

これら多くのことが出来ましたのは
多くの皆さまのご協力とご理解の賜物と
そして これを実践実行してくれている職員に
ただただ感謝するのみでございます
私たちは これまでも これからも
地域の皆様と共に歩んでまいります

平成30年度 事業計画（要約）

I.重点項目

- (1) 時代に即した経営戦略の立案と実践
- (2) 中長期的な法人経営計画の策定
- (3) 地域公益事業と地域の大きな家構想の拡充
- (4) 多角的な人材戦略の構築と推進
- (5) 組織の整備と施設経営の強化
- (6) 会議時間の短縮と超過勤務時間の極小化

II.法人本部

1.管 理 部

- (1) 法人運営・経営力の強化
- (2) 本部事務及び施設事務体制の構築
- (3) 時代に即した施設整備と改築計画の推進

2.人 事 部

- (1) 人材確保に向けた広報戦略と魅力ある制度体制強化
- (2) 理念に基づいた段階的な人材育成
- (3) 労働環境の整備

III.施 設 部

- (1) 地域の大きな家構想の推進と地域貢献・公益事業の伸展
- (2) 人材確保と人材育成の強化
- (3) 人権擁護の推進

- (4) 利用者支援の充実
- (5) 安全管理・危機管理体制の充実
- (6) 行政施策動向を見据えた事業展開

IV.保 育 部

- (1) 地域の大きな家構想の推進と地域貢献・公益事業の伸展
- (2) 人材確保と人材育成の強化
- (3) 人権擁護の推進
- (4) 理念に基づいた保育の充実
- (5) 安全管理・危機管理体制の充実
- (6) 行政施策動向を見据えた事業展開

V.外郭団体

- (1) 光明塾
- (2) ト山講

VI.法人創立 70 周年記念事業

- (1) 光明保育園同窓会設立
- (2) 法人記念誌の出版
- (3) 絵本「いちょうの木とやくそくしたおしょうさん」の出版
- (4) メモリアルDVD作成
- (5) 創立記念日祝賀会実施

平成30年度 当初予算（概要）

（単位：千円）

勘 定 科 目	合 計
事業活動による収支	
収 入	
介護保険事業収入	902,642
老人福祉事業収入	790,330
保育事業収入	2,698,955
障害福祉サービス等事業収入	515,334
生活保護事業収入	413,920
医療事業収入	21,082
介護予防事業収入	189,661
雇用関係助成金収入	300
その他助成金収入	2,000
駐車場経営収入	2,700
借入金利息補助金収入	4,579
経常経費寄附金収入	2,391
受取利息配当金収入	244
その他の収入	62,122
流動資産評価益等による資金増加額	0
事業活動収入計(1)	5,606,260
支 出	
人件費支出	3,780,611
事業費支出	829,780
事務費支出	597,232
利用者負担軽減額	350
支払利息支出	11,501
その他の支出	42,715
流動資産評価損等による資金減少額	0
事業活動支出計(2)	5,262,189
事業活動資金収支差額(3=1-2)	344,071

勘 定 科 目	合 計
施設整備等による収支	
収 入	
施設整備等補助金収入	51,310
施設整備等寄附金収入	0
設備資金借入金収入	0
固定資産売却収入	0
その他の施設整備等による収入	0
施設整備等収入計(4)	51,310
支 出	
設備資金借入金元金償還支出	90,253
固定資産取得支出	84,240
固定資産除却・廃棄支出	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,689
その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)	180,182
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 128,872
その他の活動による収支	
収 入	
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0
長期運営資金借入金収入	0
長期貸付金回収収入	0
積立資産取崩収入	39,056
その他の活動による収入	0
その他の活動収入計(7)	39,056
支 出	
長期運営資金借入金元金償還支出	0
長期貸付金支出	0
積立資産支出	275,975
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計(8)	275,975
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 236,919
予備費支出(10)	7,237
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	△ 28,957

法人ニュース

●大切にしている地域の伝統行事 どんど焼きに参加

古くから大切に行われているどんど焼き。1月7日過ぎから正月飾りが積み高く組まれた竹が、物の見事に燃え崩れ、そこに手作りのお団子をかざし「今年も一年風邪をひかず元気に過ごせるように」と願いながら焼きあがったお団子をほおばりました。



●節分

手作りのお面をかぶり、「鬼は外、福は内」と元気な掛け声とともに、鬼を退治。一年間健康で過ごせるように無病息災を願いました。



●初午

初午の日に、五穀をつかさどる農業神の宇迦之御霊が、伊奈利山へ降臨された日と言われており、五穀豊穡を願って初午祭が行われるようになりました。

お稲荷様が祀られている施設では、五色の旗を飾り、お稲荷様にいなり寿司や野菜をお供えし、お参りしました。



●涅槃会

涅槃会とは尊い教えを広められたお釈迦様が亡くなられた日です。2月15日、雲龍寺にある大きな涅槃図を見て頂き、正しい心を持ち、助けあい、明るく強く生きることを改めて学び、手を合わせました。



●記念植樹

法人創立70周年を記念して、平成30年2月10日と14日の二日間で、各施設に「大島桜」を植樹。



当日は園児や保護者、利用者様と共に、これからの施設の益々の発展とみんなの輝いた人生をご祈念。春には美しい花を咲かせながら私たちを末永く見守ってくれることでしょう。

●多摩養育園公開講座

2月16日

法人創立70周年の節目にあたり、理念の一環である「いのち」をテーマに開催。

開設後1年を迎えようとしている桜の里の現況報告と保育部からは、「生まれ、そして今育ちゆくいのち」について、施設部からは、「いのちとの関わり」について発表。そして昨年の公開講座において、大変ご好評でありました特別養護老人ホーム芦花ホーム常勤医師石飛幸三先生を再びお招きし、



「平穏死」についての講演を開催。

参加者総勢500名。改めて「いのち」の尊さを実感すると共に私たち多摩養育園は地域福祉の拠点として、「地域の大きな家」となる事を目指し皆様と共に高齢・障害・保育の今後の行方を探求して行きたいと思えます。

●親子観劇会

2月25日

オリンパスホール八王子で法人創立

70周年事業の一環として光明保育園親子観劇会を開催。当日は、園児家族の他にも市内の幼稚園・保育園、施設の利用者等、沢山の皆さんにお越しいただき、1300名を超える来場者と共にけんたろうお兄さんによるコンサート&劇団飛行船による3匹のこぶたの劇を楽しみました。



●法人一斉防災訓練

東日本大震災を風化させないため、毎年3月11日に大規模災害を想定し、法人全施設一斉防災訓練を実施。万が一の際、園児・利用者を「守れる力づくり」を目指しています。



シリーズ施設紹介

ここでは、毎号各施設の特色や活動の様子をご紹介します。

●養護老人ホーム檜の里 定員200名

昭和二十七年、八王子の北西部の檜原の地に、多摩養老院として開設。平成十九年の改築を期に名称を「養護老人ホーム檜の里」に改名。

庭園は、四季折々の表情を見せ、鎮座しているト山禅師像がいつも見守ってくださっています。隣接する、光明第三保育園の子ども達との日常的な交流は、入居者様の生活の一部になっています。



●養護老人ホーム竹の里 定員160名

昭和三十年、一月に多摩養老院（現檜の里）の分院として八王子市犬目町に開設。平成十九年四月「養護老人ホーム竹の里」に改名。日中は将棋やビリヤードなど利用者様同士の活動が活発に行われており、ラウンジ「竹」では仲の良い利用者様同士が談笑して過ごされています。



●光明第一保育園

定員350名

創設者足利正明師が戦後、八王子市八木町の地に立ち、「戦後の復興は児童の養育から」との信念のもと、雲龍寺を再建し、その本堂を無料託児所として開放。社会事業団「光明学園」として設立発足したのが、昭和23年1月1日のことでした。その後昭和28年、光明第一保育園として改名認可。

園庭には、樹齢350年ほどになる銀杏の木があり、創設より70年間子どもたちを見守っています。そして当園には、子どもが望むたくさんの「やってみたい！」がつまっています。幼児期の子どもたちは人間の一生のうちで最も多くのことを学び、感じ、その先の成長の基礎を増やします。だからこそ子どもが自らやりたいと思った遊びをたくさん提供しています。



●光明第二保育園

定員122名

昭和25年小金井市貫井南町の千手院の境内を無償で借り受け、定員40名でスタート。今年で68年目を迎えます。平成23年、園舎の老朽化から建て替えをし、子どもたちは、木のぬくもりを感じながらのびのびと生活しています。0.1歳児は成長段階に合わせた保育、3歳児以上は

異年齢児保育を行い、子どもが主体的にのびのびと活動しています。また、小金井市の伝統である阿波踊りを取り入れ、夏の大会出場に向けて日々練習。地域の伝統に触れることで、地域との触れ合いを大切にしています。



●シリーズ「地域の大きな家」

各施設でいきいきと活動されているボランティアさんをご紹介します。

●保育園でのボランティアを通して

加賀 孝博

これまで、児童館で子どもと携わり、子どもと触れ合う事で自分の心が穏やかになっていくことに気づかされました。自分のやり方が光明第三保育園に適しているのかという不安は常にあります。そんな中でも、先生方が密に話して下さること、子ども達が、笑顔で迎えてくれること。何事にも代えられない経験をさせて戴いています。その経験が実生活の学習塾において大いに役立っていることも心から感謝しております。



●「法人将来検討委員会」を開催

3月14日

光明ビルにて、八王子市社会福祉協議会 菊谷文男常務理事、清心福祉会 青木訓行理事長、滝島克明法人参与の三氏をお招きし、法人側は足利理事長ほか6名が出席。

まず、理事長及び三部長から法人の現状と課題について報告。その後、お招きした三氏からのお話を中心にフリートークング。

社会福祉法人のあるべき姿、人材確保と育成、地域貢献事業のあり方などについて、二時間に亘る熱のこもった意見交換が行なわれました。



●今後の行事予定(4月～7月)

4月 保育園入園式

光明府中南保育園移管開園

全施設観桜会(7日) 花まつり

創立70周年記念祝賀会(17日)

八王子是春祭り出演

親子遠足(年長児)

5月 親子遠足(年長児)

7月 保育夏祭り 施設納涼祭 自衛消防訓練審査会出場

連載

八王子の名僧 ト山

⑬ 新寺開山

一五九〇（天正一八）年六月、八王子城落城、宗関寺焼失。ト山さまは小津の山里に逃れました。和尚さんを慕う人達があとからあとから追いかけてきました。秋になって、宝珠寺という新しい寺が開かれ、さまよう人々に仏法を伝え、安心させる場が出来ました。ト山さまはこの六月の戦乱（天正の乱）が、大勢の人を死なせた不条理なものだったとして、世の成り行きの無常さを痛感しました。そこで、仏教の教えをもっともつと弘めて、平和な世の中にしなければならぬ、と決意を新たにしました。「往く処にも住む所にも当てはない」。「行雲流水」の境地となつて、八十四歳のト山さまは以後三十五年間、「とらわれない自然な」生き方を貫くことになりました。関武閑道人（関東武蔵の暇な坊主）と名乗って、慈悲の心を心棒とし菩薩道に進進するのです。他の者の幸せを優先する菩薩行は、先ずは新寺開山として宝珠寺を生み、一五九一年、小比企に暉窓寺、九十二年、千人町に興岳寺、九十七年、上恩方に良泉寺、下つて一六一六年、台町に信松院を生みましました。



興岳寺

感謝

（期間：平成30年1月1日～平成30年2月28日）

ご芳情（敬称略、五十音順）

小関伸吾 セレモハインス様 内藤国暁 松浦嘉恵子 八木岡明美 渡邊愛子 以上

ボランティア（敬称略、五十音順）

青木一郎 朝倉俊子 阿部四三子 荒井彰 飯田昭子 飯原絢子 井口良雄 石坂規容子 伊勢恒二 市川和江 市川弘美 伊藤久美子 伊藤巨 井上綾子 井上純一 井上藤江 今村泰彦 岩崎真三 岩瀬睦子 宇賀神徳之 梅澤静子 江口尚志 江成由美子 遠藤春代 大内ひろみ 大木元子 大久保輝子 大竹宏直 大谷征也 大塚純子 大森彩葉 大石英俊 大木真佐子 岡田ハル子 岡村浩充 岡本悦江 岡本秀俊 岡本芽衣 岡村すみ子 岡本恵子 小川法子 長田百々代 小佐野恵美子 小澤良行 越智曜子 おはなしのたね 音詠を楽しむ会 海崎深雪 加賀孝博 片山瑛子 勝山洋子 加藤樹一 加藤二栄子 加藤美知子 加藤順子 金子陽子 金子愛子 金子日出子 金子芳子 鎌田深太郎 紙本諭 神藤満佐子 亀岡さつき 川内理美 川上孝子 菅野晶子 菊池郁世 菊地すみ子 来住野治代 北嶋俊宏 北島悦子 木下紀代美 木原正雄 木村朱里 工藤初恵 くじさんず 国定詳子 窪田拓也 久保里香 倉富久美子 栗原君子 黒岩とき子 桑田厚子 剣持仁美 小池弘三 小池めぐみ 国府田俊男 郷田公子 小鷹康子 後町せつ子 小林紀子 小林美智子 小林智恵子 小林陽子 小林和子 小まきさの家 小松崎万俐愛 小松崎睦美 小室紀子 近藤彩菜 金野梓 齋藤佳子 坂本一子 境野育未 佐久間麗 佐藤智恵子 佐藤八重子 佐藤君枝 佐藤鷹志 佐藤洋子 澤田奈津子 嶋原宣子 柴田和子 島崎温恵 白山由起 新開昭子 鈴木幸子 鈴木孝昭 鈴木紀子 鈴木カネ子 鈴木良子 須田キヨ子 関口三太郎 関根良子 園部スツ 第一万青会 高尾山とんとん昔語り部の会 高橋茂子 高橋眞弓 滝島きみこ 武井由香梨 武田功江 竹田友貴 田所房子 田中夏琉 田中美代子 田中陽菜 田中弘子 多摩にじの会 田村江津子 千田万里子 千田順子 恒元房枝 津橋祥隆 D&SのB&D はちお

編集後記

3月11日、毎年全施設一斉に、震災発生時刻の14時46分から黙とうを捧げ、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りしています。しかし、日々の生活でこれだけ思い出す機会があったらうかと反省。被災地は少子化、高齢化、仮設住宅のことなど「課題の先進地」と言われています。災害はどこでも起こりえること、「明日は我が身」という思いで、被災地の今を知ることや、災害への備え、日々の訓練の大切さを改めて痛感しました。4月1日光明府中南保育園が移管開園し全21施設。平成30年度が始まりました。一日一日、常に感謝の気持ちを持ち、ご利用者様や園児と笑顔あふれる楽しい毎日を送りたいです。広報紙編集委員会

◎資格取得◎
介護福祉士

題字・表紙写真 足利正哲

光華

布川涼太

ご支援、ご協力ありがとうございました

うじ 寺口章菜 土井俊彦 遠竹紅平 富山麻美 富山和子 豊田義主 仲川フミ子 中谷頼子 中村悠太 中村結愛 中山一江 なかよしこよしの会 永井美知 永作一枝 長澤民子 長澤友美 永柴孝章 西尾トシ子 西野慧子 根本ヒロ子 野崎末子 萩原しずく 橋本真澄 橋本利子 八王子おはなしの会 八王子センター元氣 馬場波雲 濱口幸江 早川澄得 春山茂隆 ハンドマッサージスマイル 平井三枝子 平松桃子 平山知輝 廣本節子 深浦優月 深澤杏寧 福澤智津子 福島クワ工 藤敦大輔 ふたば会 府中市介護予防サポーター元氣一番！ひろめ隊 船木文夫 古幡則子 古幡正比古 古谷美恵 古川詔子 古谷静子 宝寿会 星野もか 細洲妙子 細谷リエ子 堀内謙 前島美津枝 牧野美智子 正国秀子 マジック玉手箱 増田美和子 増洲摂子 松岡沙紀 松澤理沙 松田重雄 丸山紀公 三浦トヨ子 三浦勝次 三浦淡豊 三島榮子 三品久子 美松和子 三宅カズミ 宮下町会婦人部 宮野哲雄 宮元友子 三好のぶちか 村上敏夫 村木侑平 村田大季 百田育子 森正人 諸星正子 八木岡明美 谷津芳子 山岸陽子 山口春菜 山下忠 山田成子 山口ツヤ子 吉崎充洋 吉川政雄 ライジングサン レア・ウクレレの会 渡辺艶子 渡邊剛久 渡邊恵子 渡辺栄子 以上